

GV-MTV/ISA

取扱説明書

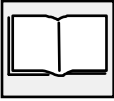
【ご注意】

- 1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品および本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 3) 本製品および本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
- 6) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
- 7) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 8) 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりません。予めご了承ください。
(Japan use only.)

- Microsoft, Windows, MS, MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、多機能ビデオボードGV-MTV/ISAをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

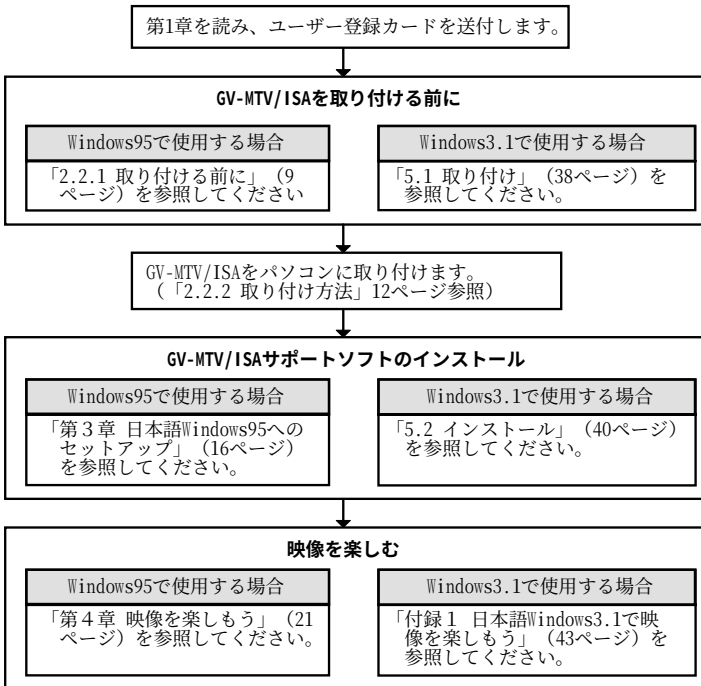
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書をご覧になるにあたって ●

・本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



・呼び方

呼び方	意 味
Windows95	Microsoft [®] Windows [®] 95 Operating System
Windows3.1	Microsoft [®] Windows [®] Operating System Version3.1
Windows	Windows95およびWindows3.1の総称
GAシリーズ	GA-DR/DRV/DRTV/968V/PG3Dシリーズ

・ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《多機能ビデオボード》 GV-MTV/ISA

《文字多重放送デコーダボード》 GV-TTX/EX（別売オプション）

《ドライブ構成》

A：フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置

使用するOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROMドライブ装置

はじめに	i
------------	---

第1章 **ご使用になる前に..... 1**

1.1	GV-MTV/ISAが広げる世界	1
1.2	箱を開けたら	3
1.3	動作環境	4
1.4	使用上の注意	5
1.5	実行用ディスクの作り方	7

第2章 **GV-MTV/ISAを取り付けよう..... 8**

2.1	各部の名称	8
2.2	取り付け	9
2.2.1	取り付ける前に	9
2.2.2	取り付け方法	12

第3章 **日本語Windows95へのセットアップ 16**

3.1	インストール	16
3.2	インストールされた情報を削除するには	19

第4章 **映像を楽しもう..... 21**

4.1	テレビを見るには	22
4.2	「GV-MTV 環境設定」の使い方	26
4.3	「Wall TV」を使用するには	31
4.4	キャプチャツールを使用する前に	33

第5章 日本語Windows3.1へのセットアップ…………… 3 8

- 5.1 取り付け…………… 3 8
- 5.2 インストール…………… 4 0
- 5.3 インストールされた情報を削除するには…………… 4 2

付録1 日本語Windows3.1で映像を楽しもう…………… 4 3

- 付1.1 テレビを見るには…………… 4 3
- 付1.2 「GV-MTV 環境設定」の使い方…………… 4 4
- 付1.3 「Wall TV」を使用するには…………… 4 5
- 付1.4 キャプチャツールを使用する前に…………… 4 6

付録2 困った時には…………… 4 8

- 一般的なトラブル…………… 4 8
- エラーメッセージ…………… 5 2
- GV-MTV/ISAの設定の確認・変更…………… 5 4

付録3 仕様…………… 5 7

- 付3.1 パソコン環境…………… 5 7
- 付3.2 ディップスイッチの設定…………… 5 9
- 付3.3 ハードウェア仕様…………… 6 0
- サポートセンターへのお問い合わせ…………… 6 4
- サポートソフトウェアのバージョンアップ…………… 6 5
- アフターサービス…………… 6 6

第1章 ご使用になる前に

この章では、GV-MTV/ISAをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 GV-MTV/ISAが広げる世界

GV-MTV/ISAはあなたのパソコンをマルチメディアマシンに変えてくれるボードです。

◆テレビを見ながらパソ通する。

GV-MTV/ISAに直接テレビアンテナを接続すると、テレビ画面をパソコン画面に表示することができます（CATVのC13～C38チャンネルにも対応しています）。また、映像機器を接続するだけで簡単にディスプレイに映像を表示することができます。ビデオ、レーザーディスク、ビデオカメラや家庭用TVゲーム機など様々な映像機器をサポートしています。Windows環境で、パソコン通信など、他のアプリケーションを実行中に映像を楽しむことができます。

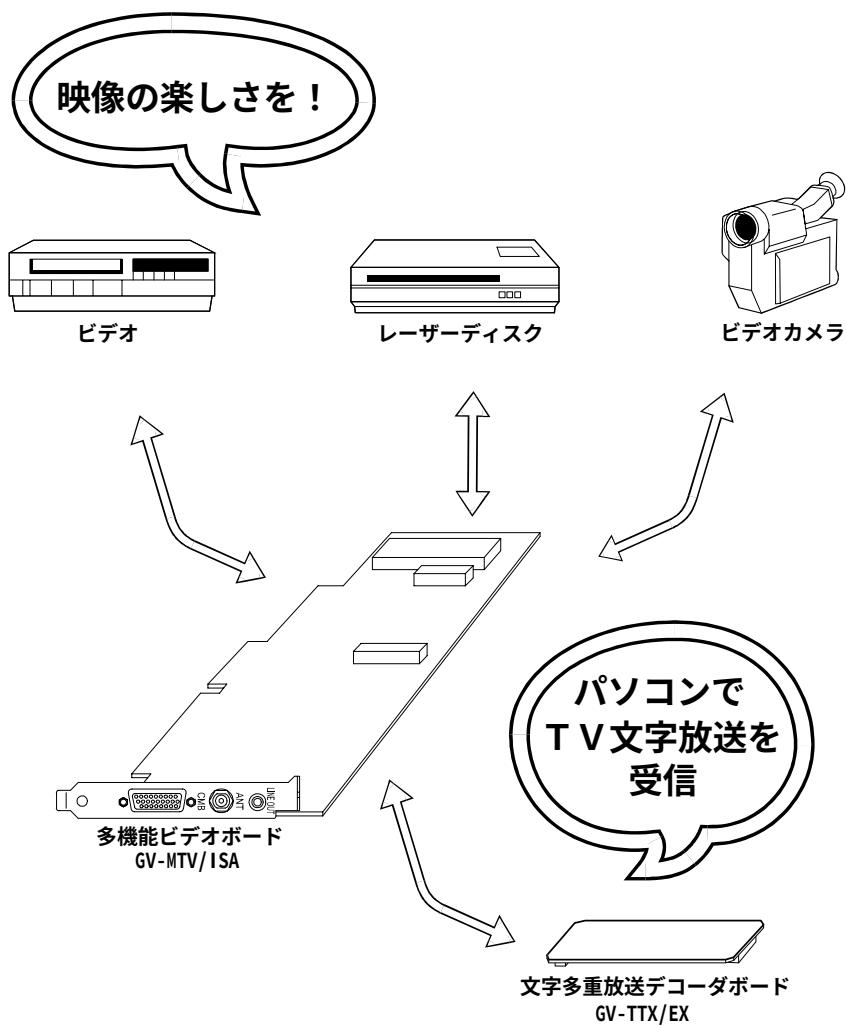
◆映画の1シーンを壁紙に使う。

表示された映像はキャプチャツールでAVIファイルにしたり、1コマ単位でファイルに保存することができます。文書ファイルにリンクしたり貼り付けることにより、動きや音と共に詳しく相手に伝えることができます。テレビやビデオの1シーンをWindowsの壁紙にするもよし、さらに手を加えてオリジナル画像データを作成することも簡単です。

◆オプションでマルチメディアをいっそう楽しむ。

テレビ文字放送をパソコンで受信するには……文字多重放送デコーダボード
GV-TTX/EX（GV-MTVシリーズおよびGV-EXTV/ISA用）
ハイレゾ画面で楽しむには……グラフィックアクセラレータボード
GAシリーズ（弊社製品、発売中）

これらの機能を簡単に操作できるサポートソフトウェアを標準添付しています。



12 箱を開けたら ●

●同梱構成品

No.	内容物	個数	備考
1	多機能ビデオボード	1 枚	GV-MTV/ISA
2	画像入出力ケーブル	1 本	
3	サポートソフトウェアディスク	2 枚	3.5 インチ2HD(1.44MB)
4	ビデオ編集ソフト	1 セット	
5	日本語版Video for Windows1.1e ランタイムモジュール	1 枚	3.5 インチ2HD(1.44MB) サービス品(Windows3.1用)
6	取扱説明書	1 冊	本書
7	ハードウェア保証書	1 枚	
8	ユーザー登録カード (本書巻末)	1 枚	
9	Verシール	1 枚	
10	ハードウェアシリアルNo.シール	1 枚	

万が一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管してください。修理などで輸送の際にはこれをご使用ください。

●ユーザー登録カードのご返送

- 1). 添付のVerシールをユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
- 2). 添付のハードウェアシリアルNo.シールをユーザー登録カードに貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注意

- 1) 弊社では、サポートセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録カードをご返送くださった方のみが対象となります。
お買い上げいただいた製品ごとに必ずご返送ください。
- 2) 必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

13 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

●対応機種

CPU 386SX以上のISAバス（フルサイズ）を搭載したPC/AT機および互換機※
メモリ容量 8MB以上

※ 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。



特に注意

ハードディスクの内容が破壊される恐れがありますので、ビデオメモリアドレスで「F00000h」を使用する場合は、パソコン（マザーボード）のBIOSセットアップメニューでアドレス「F00000h」を使用可能に設定してください。

（例・・・Memory Hole At 15M-16M : Enabled）

●対応OS

- ・ 日本語Windows95
- ・ Microsoft製またはIBM製、日本語Windows3.1

●接続できる映像機器およびオプション

ピンプラグ形状の映像出力端子をもつ映像機器 最大2台

Sビデオの映像出力端子をもつ映像機器 1台

GV-TTX/EX（GV-MTVシリーズ, GV-EXTV/ISA用 文字多重放送デコーダボード）
..... 1枚

14 使用上の注意

- GV-MTV/ISAの取り付けや取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。
- ボードに静電気が流れるとボード上の部品が破壊されるおそれがあります。入出力コネクタ部や部品面には直接手を触れないでください。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、ボードを取り付けたり取り外したりする前にスチール・キャビネットなどの金属製の物に触れて静電気を必ず逃がしてください。
- 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱いってください。
- 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。
 - ・分解や改造などをしないでください。
 - ・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- GV-MTV/ISAの制限事項
 - ・GAシリーズと併用した場合、GV-MTV/ISAの動作中（GV-MTV/ISAを利用してテレビやビデオのオーバーレイ表示を行っている場合等）は、GAシリーズのディスプレイ機能で「ビッグスクリーン」、「ハードウェアズーム」、「MPCモード」、「解像度の変更」は使用できません。
 - ・GAシリーズなどのDPMSモードから通常状態に戻った時、GV-MTV/ISAの画面が乱れます。GV-MTV/ISAの表示ウィンドウを再起動するか、表示位置をずらすと正常に戻ります。
 - ・GAシリーズなどの走査方式がインタレースの場合や解像度が1024x768（ノンインタレースフリッカーフリー75Hz）を超える場合、GV-MTV/ISAは動作いたしません。
 - ・GV-MTV/ISAを使用したアプリケーションは、同時に2つ以上実行できません。
- 接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。またGV-MTV/ISAとの接続のためにはピンプラグまたはSビデオの映像コードが必要です。電化製品販売店などでお求めください。
- 弊社製TVチューナーユニットGV-TVには対応していません。

- コンポジットSYNC信号を必要とする一部の古いディスプレイはご使用になれない場合があります。
- GV-MTV/ISAのチューナー部は、CATVのC13～C38チャンネルにも対応しています。
- Windows95には、添付の「日本語版 Video for Windows1.1e ランタイムモジュール」はインストールしないでください。



注意

- 1). CATVをご覧になるときは、CATV会社との受信契約が必要です。
- 2). CATVのC13～C38内のチャンネルでも有料放送などでスクランブルがかかっている場合は、ご覧になれません。

- 本製品の内部の点検・調整・修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。
- 保証について
保証期間
・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。
- ・本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりません。予めご了承ください。
(Japan use only.)

15 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。

ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。

- ・ 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
- ・ サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。
- ・ Windows95の場合は、「マイコンピュータ」の「3.5インチ FD(A:)」を右クリックし「ディスクのコピー」を選択します。

Windows95の



例)

MS-DOS (PC DOS, Windows 3.1) の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

C:\>diskcopy a: a: .

(下線部入力)

- ・ サポートソフトウェアディスクと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。



注意

サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章

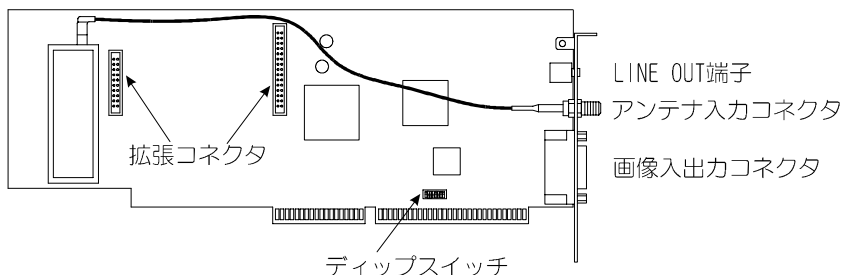
GV-MTV/ISAを取り付けよう

この章では、GV-MTV/ISAの取り付け、ビデオなどの映像機器と接続するまでを説明します。説明に沿って正しく操作してください。

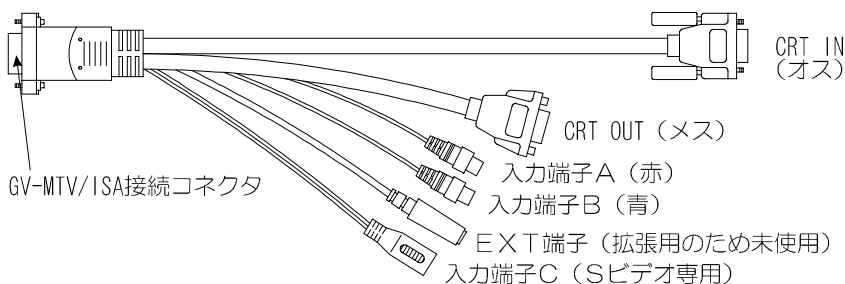
21

各部の名称

●GV-MTV/ISA



●画像入出力ケーブル



特に注意

画像入出力ケーブルのGV-MTV/ISA接続コネクタは、GV-MTV/ISA以外に接続しないでください。ケーブルの発火や周辺機器の故障を招く恐れがあります。

22 取り付け

ここでは、パソコンへのGV-MTV/ISAボードの取り付け方法について説明します。



注意

Windows3.1上でのGV-MTV/ISAの取り付けおよびセットアップは、「第5章 日本語Windows3.1へのセットアップ」38ページを参照してください。

2.2.1 取り付ける前に

ここでは、Windows95上でGV-MTV/ISAを使用する場合の取り付け前の必要な設定について説明します。

パソコンにGV-MTV/ISAを取り付ける前に、GV-MTV/ISAが使用できるI/Oポートアドレスの取得およびGV-MTV/ISAのディップスイッチの設定が必要です。

以下にI/Oポートアドレスの取得方法および取得したI/Oポートのボード上への設定について説明します。（以下の操作でキャプチャドライバの登録も行います。）



注意

この時点では、GV-MTV/ISAをパソコンに装着しないでください。

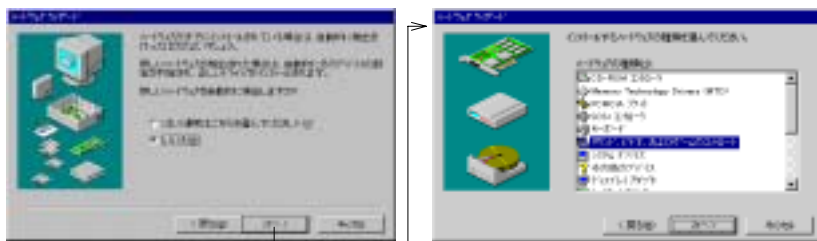


「コントロールパネル」の「ハードウェア」アイコンをダブルクリックし、「ハードウェアワイザード」を起動します。[次へ>]ボタンを押してインストールを始めてください。



- 2** 「新しいハードウェアを自動的に検出しますか?」と表示されている画面では、「いいえ」をチェックして[次へ>]ボタンを押してください。

次に、「ハードウェアの種類」で「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」を選択し、[次へ>]ボタンを押してください。



- 3** 「ハードウェアウィザード」のハードウェアの「製造元」と「モデル」を選択する箇所です「ディस्क使用」を押してください。

次に「GV-MTV/ISAサポートソフトウェア①」ディスクをフロッピーディスク装置に入れてから「配布ファイルの元」で

A:\win95 （下線部入力：フロッピードライブがAドライブの場合）と入力し、[OK]ボタンを押します。



4 「デバイスの選択」画面で「GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンを押します。

次に「ハードウェアボード」が表示した「I/O ポートアドレス」のとおりにGV-MTV/ISAのディップスイッチを設定して（合わせて）ください。（ディップスイッチの設定は、「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページを参照して行ってください。）

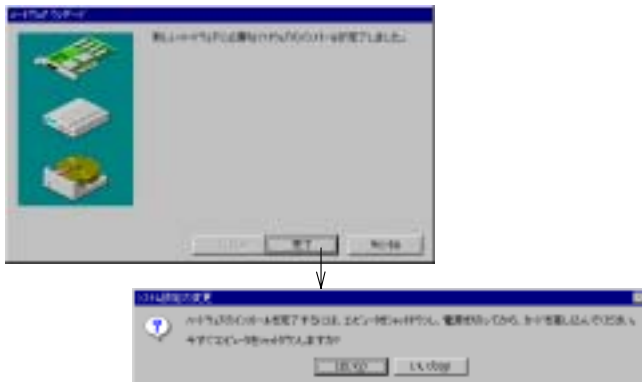
※ ここで表示されているハードウェアの設定は、他の周辺機器を取り付ける際に必要になる場合があります。印刷またはファイルデータに保存し、参考資料として使用することをおすすめします。

ディップスイッチ設定後、[次へ>]ボタンを押します。インストール（必要なファイルのコピー）が開始されます。



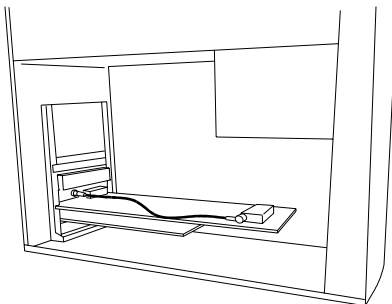
このI/O ポートアドレスをGV-MTV/ISAのディップスイッチに設定してください。

5 インストールの完了を知らせる画面で[完了]ボタンを押してください。
「システム設定の変更」画面で[はい]ボタンを押し、コンピュータをシャットダウン後電源を切ってください。この後、操作4で設定したGV-MTV/ISAをコンピュータに取り付けます。（「2.2.2 取り付け方法」12ページ参照）



2.2.2 取り付け方法

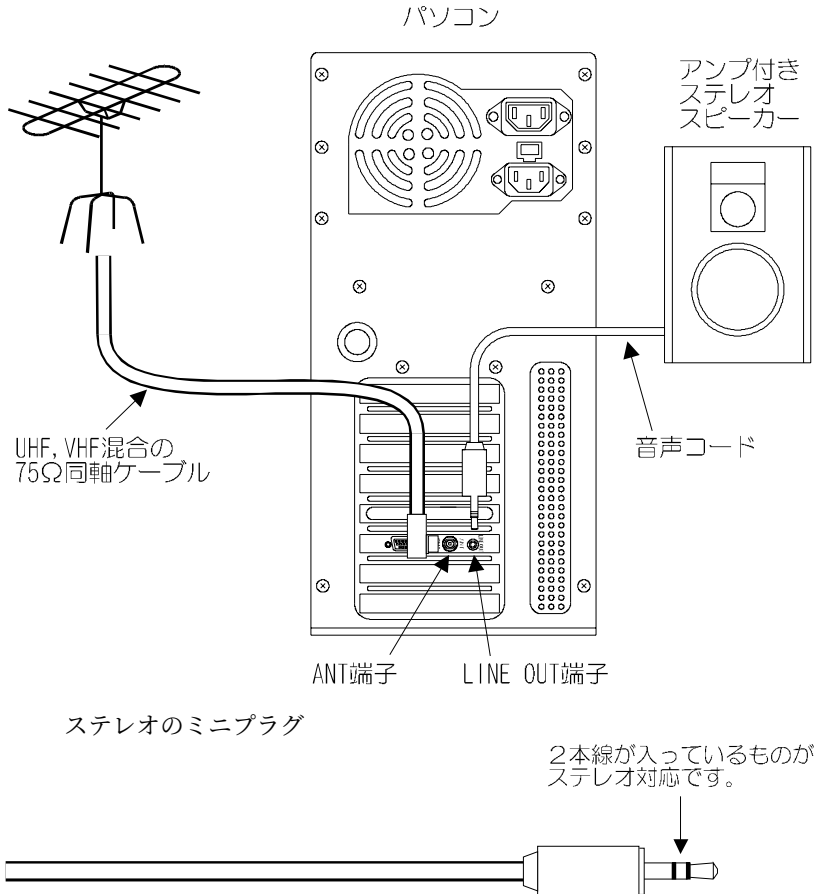
- 1** パソコンの電源スイッチを切り、周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。
- 2** パソコンのカバーを取り外します。（取り外し方については、パソコンの取扱説明書を参照して下さい。）
- 3** 空いているISAバス用の拡張スロットカバーを取り外してください。
- 4** ISAバスの拡張スロット（フルサイズ）にGV-MTV/ISAを取り付けます。
GV-MTV/ISAが拡張スロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。



- 5** ISAバスの拡張スロットにGV-MTV/ISAが確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。
- 6** 操作**1**や**2**で取り外したパソコンのカバーと全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。

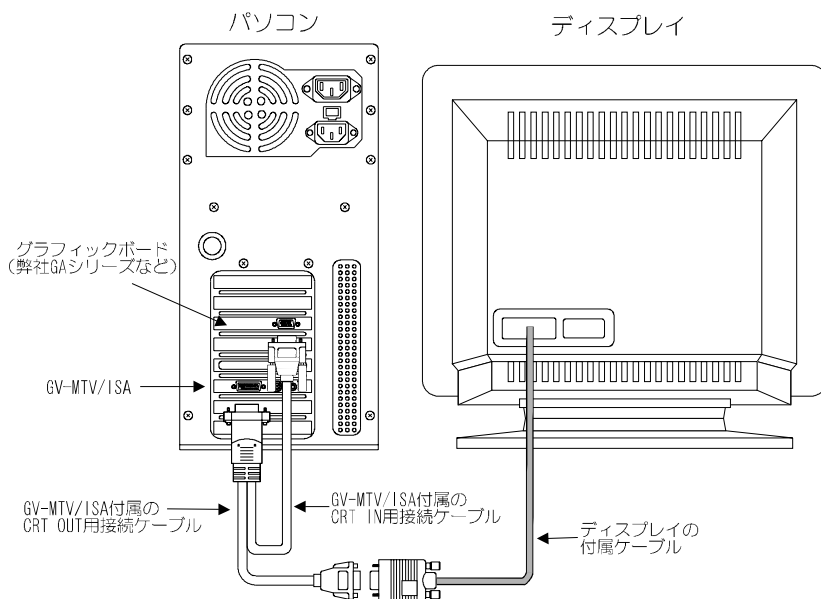
7 テレビ放送をご覧になる場合は、GV-MTV/ISAのANT端子にUHF,VHF混合の75Ω同軸ケーブルを接続してください。

テレビ放送の音声は、GV-MTV/ISAのLINE OUT端子からステレオ対応で出力されます。接続する音声出力装置（サウンドブラスター等の音源ボードやパソコン本体のLINE IN端子またはアンプ付きステレオスピーカー）に合った音声コードを電化製品販売店などでお求めの上、接続してください。（GV-MTV/ISAのLINE OUT端子はステレオのミニプラグに対応しています。）



・ ディスプレイとの接続

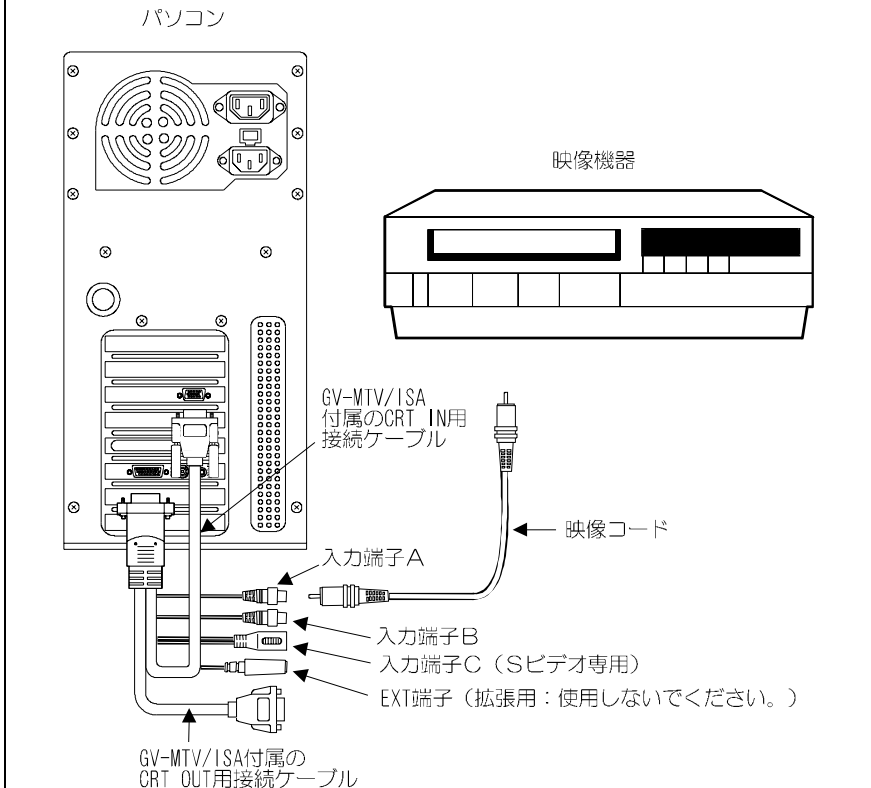
- 1). パソコン本体に取り付けられたグラフィックボード（弊社GAシリーズなど）のCRT OUTコネクタにGV-MTV/ISA付属のCRT IN用接続ケーブルを接続します。
- 2). ディスプレイの接続ケーブルとGV-MTV/ISA付属のCRT OUT用接続ケーブルを接続します。



・ 映像機器と接続したい場合→「・ 映像機器との接続」15ページへ

・映像機器との接続

- 1). GV-MTV/ISAの入力端子（A，B，Cのいずれか）と、ビデオなどの映像機器の映像出力端子を、お客様にご用意いただいた映像コードで接続します。



注意

- 1) GV-MTV/ISA側の入力端子CはSビデオ専用です。
ピンプラグの場合は、端子A (赤)またはB (青)に接続してください。
- 2) EXT端子は、将来の拡張用です。使用しないでください。

第3章

日本語Windows95への セットアップ

この章では、Windows95上で添付のGV-MTV/ISAサポートソフトウェア
（[GV-MTV TV コントローラ],[GV-MTV 環境設定],[Wall TV],[説明ファイル]）の
セットアップ方法について説明します。

3.1

インストール

ここでは、Windows95へのGV-MTVサポートソフトウェアのインストール方法について説明します。

1 Windows95を起動します。

[コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] → [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ] にキャプチャドライバ（「GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード」）が登録されているのを確認してください。（登録されていない場合は、「2.2.1 取り付ける前に」9ページを参照して登録を行ってください。）

キャプチャドライバ
が登録されている



2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

3 「GV-MTVサポートソフトウェア①」 ディスクをフロッピーディスク装置にセットします。

- 4** [名前] テキストボックスに以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

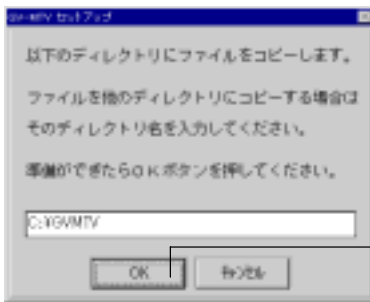
書式 サポートソフトディスクを入れたドライブ名:\GVSETUP



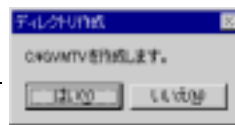
- 5** [GV-MTVセットアップ] 画面が表示されますので、「GV-MTV インストール」を選択後、[OK]ボタンを押します。



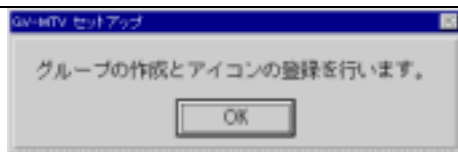
- 6** インストール先（ファイルのコピー先）の確認画面が表示されるので、テキストボックスの内容を確認して[OK]ボタンを押します。ファイルのコピーを開始します。



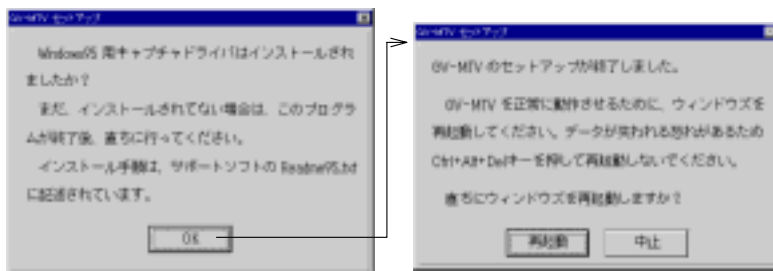
インストール先のドライブに、表示のディレクトリ(フォルダ)が存在していない場合、ディレクトリ(フォルダ)作成の確認画面が表示されます。



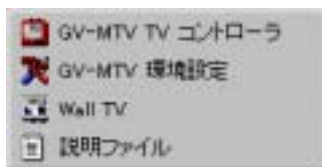
- 7** 以下のように表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



- 8** キャプチャドライバの登録確認が表示されます。(キャプチャドライバの登録は、「2.2.1 取り付ける前に」9ページのセットアップで登録されます。) 後は画面の指示にしたがって操作してください。最後に「再起動」ボタンを押してください。
再起動後にGV-MTV/ISAが有効になります。



- 9** 再起動後、[スタート] → [プログラム] → [Gv-mtv] に、[GV-MTV TV コントローラ], [GV-MTV 環境設定], [Wall TV], [説明ファイル]が登録されています。



以上でインストールは終了です。

3.2 インストールされた 情報を削除するには

ここでは、Windows95にインストールしたGV-MTVサポートソフトウェアの情報を削除（アン・インストール）する方法について説明します。

アン・インストールを行う場合には、GV-MTVサポートソフトウェアでのアン・インストールの実行およびWindows95の[デバイスマネージャ]からGV-MTVキャプチャドライバの削除が必要となります。

アン・インストール後、GV-MTV/ISAをパソコンから取り外してください。



注意

GV-MTV/ISAサポートソフトウェアがインストールされていない状態では、アン・インストールはできません。また、別売オプションのGV-TTX/EXサポートソフトウェアがインストールされている場合は、GV-TTX/EXサポートソフトウェアのアン・インストール後に、GV-MTV/ISAのアン・インストールを行ってください。

1

Windows95を起動します。

[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

2

「GV-MTVサポートソフトウェア①」ディスクをフロッピーディスク装置にセットします。

3

[名前] テキストボックスに以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

書式 サポートソフトディスクを入れたドライブ名:\GVSETUP



- 4** 「GV-MTV インストール」, 「GV-MTV アン・インストール」の選択画面が表示されます。「GV-MTV アン・インストール」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。「GV-MTV アン・インストール」ダイアログボックスが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- 5** アイコンとグループ削除のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。アン・インストール終了の画面が表示されます。
[再起動] ボタンをクリックしてください。Windows95が再起動されます。

- 6** Windows95再起動後、GV-MTVキャプチャドライバの削除を行います。
[システム]→[デバイス マネージャ]→[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]から
[GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード]を削除してください。



- 7** 削除後、Windows95を終了し、パソコンの電源を切り、GV-MTV/ISAを取り外してください。

以上でアン・インストールは終了です。

第4章

映像を楽しもう

この章では、Windows95上でのGV-MTV/ISAの添付アプリケーションの使用方法を説明します。（Windows3.1上での使用方法是Windows95上での使用方法とほぼ同じです。ただし、起動方法その他一部異なる点があります。「付録1 日本語 Windows3.1で映像を楽しもう」43ページも参照して使用してください。）

■ テレビや各種映像機器を見るには

GV-MTV/ISAに直接テレビアンテナを接続すると、テレビ画面をパソコン画面に表示することができます（CATVのC13～C38チャンネルにも対応しています）。また、映像機器を接続するだけで簡単にディスプレイに映像を表示することができます。（「4.1 テレビを見るには」22ページ参照）

GV-MTV/ISAの環境設定（カラー調整、表示調整、入力調整など）を行うことができます。（「4.2 「GV-MTV 環境設定」の使い方」26ページ参照）

■ 映画の1シーンを壁紙に使うには

テレビやビデオの1シーンをWindowsの壁紙にもできます。（「4.3 「Wall TV」を使用するには」31ページ参照）

■ 動画の編集

表示された映像はキャプチャツールでAVIファイルにしたり、1コマ単位でファイルに保存することができます。文書ファイルにリンクしたり貼り付けることにより、動きや音と共に詳しく相手に伝えることができます。

（添付の「ビデオ編集ソフト(VideoWork)」および「4.4 キャプチャツールを使用する前に」33ページ参照）

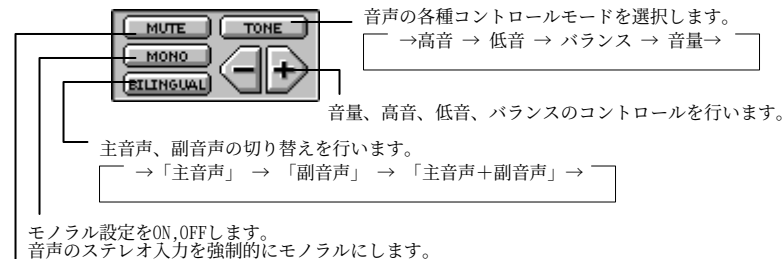
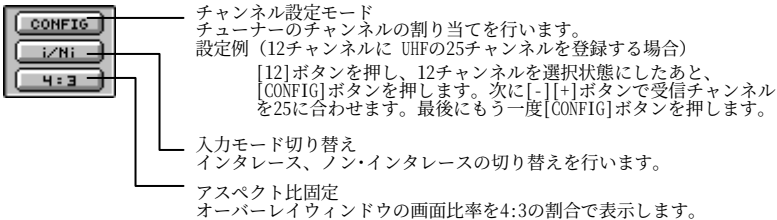
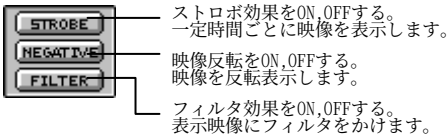
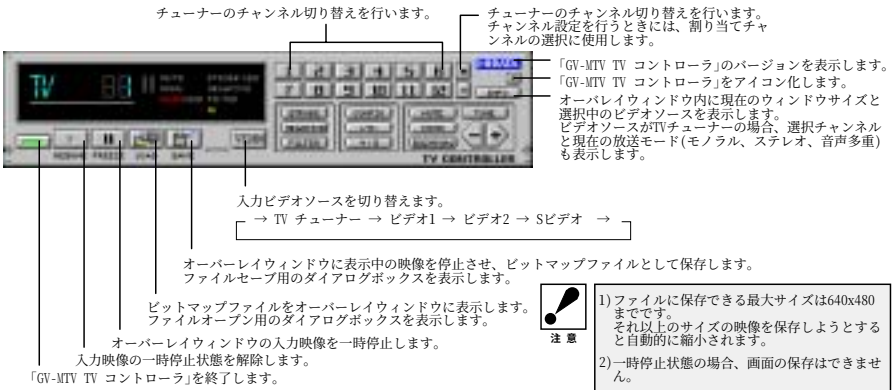
41 テレビを見るには ●

GV-MTV/ISAにUHF,VHF混合の75Ω同軸ケーブルを接続する事によりWindows上でテレビを見ることができます。テレビを見るには、[スタート] → [プログラム] → [Gv-mtv] の[GV-MTV TV コントローラ]を起動します。



「ステレオ放送」や「音声多重放送」の調整を行います。チャンネルは、「GV-MTV TV コントローラ」と連動しています。各放送形式で1回ずつ調整を行ってください。(すべてのチャンネルで調整を行う必要はありません。)

各ボタンの機能概要



キーボードでの操作

ボタン	キーボード
	「Alt」 + 「F4」
	「SPACE」 (or 「・」)
	「SPACE」 (or 「・」)
	「Ctrl」 + 「L」
	「Ctrl」 + 「S」
	「Tab」
	「1」 ~ 「9」
	「0」
	「,」
	「.」
	「Ctrl」 + 「+」 (or 「→」 or 「↑」)
	「Ctrl」 + 「-」 (or 「←」 or 「↓」)
	「Ctrl」 + 「R」
	「Ctrl」 + 「G」
	「Ctrl」 + 「F」
	「Ctrl」 + 「C」
	「Ctrl」 + 「I」
	「Ctrl」 + 「P」
	「Ctrl」 + 「M」
	「Ctrl」 + 「O」
	「Ctrl」 + 「B」
	「Ctrl」 + 「T」
	「+」 (or 「→」 or 「↑」)
	「-」 (or 「←」 or 「↓」)
	「Ctrl」 + 「Q」
	「Ctrl」 + 「N」



注意



参考

1) チャンネル切替ボタンでUHFなどの13ch以上のチャンネルを切り替えるには、あらかじめ、設定ボタンで各チャンネルに受信チャンネルを登録しておく必要があります。

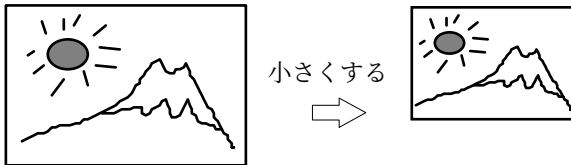
2) 保存したフルカラー画像ファイルを16色対応のWindowsアプリケーションで表示させても、正しく表示されません。その場合は  ボタンでファイルを読み込みオーバーレイウィンドウに表示させてください。

映像ウィンドウのサイズを変える

1). ウィンドウのサイズによって映像の大きさを変える場合

ウィンドウサイズを変更すると、変更したウィンドウサイズでも映像全体が見れるように、映像の大きさを自動的に変更します。

映像の大きさ = 映像ウィンドウサイズ



参照

取り込み範囲については「4.2「GV-MTV環境設定」の使い方」26ページを参照してください。

2). ディスプレー一杯にビデオ映像を表示したい場合（フルスクリーン）

Display Windowのタイトルバーの  印をクリックするか、タイトルバーを直接ダブルクリックします。フルスクリーンから元の状態にもどすには、マウスをダブルクリックするか、何かキーを押します。

（フルスクリーン表示の場合、「GV-MTV TV コントローラ」は、マウスの右クリックで表示、左クリックで隠れます。また、システムメニューの「つねに手前に表示（コントローラ）」をチェックしている場合は、常に表示されています。（22ページ参照）

42

「GV-MTV 環境設定」の使い方

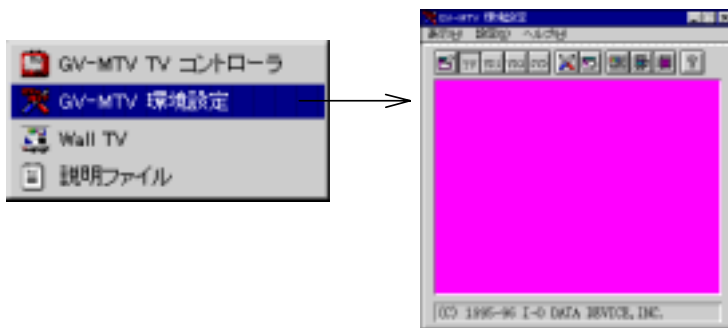
ここではWindows上での「GV-MTV 環境設定」の操作を説明します。

初めてGV-MTVを使う時に、一度環境設定を行います。

「GV-MTV 環境設定」は、[GV-MTV TV コントローラ]で表示する映像の各種環境設定（カラー調整, 表示調整, 入力調整など）を行います。[GV-MTV TV コントローラ]の表示が暗い場合や表示位置がずれている場合などの各調整を行ってください。

・「GV-MTV 環境設定」の起動

- 1 Windowsを起動して、[スタート] → [プログラム] → [Gv-mtv] の [GV-MTV 環境設定] を起動します。
- 2 接続した映像機器の電源を入れます。
ビデオやレーザーディスクの場合は、再生状態にします。
- 3 [GV-MTV 環境設定] の映像ウィンドウが表示され、接続した映像機器からの映像が映ります。



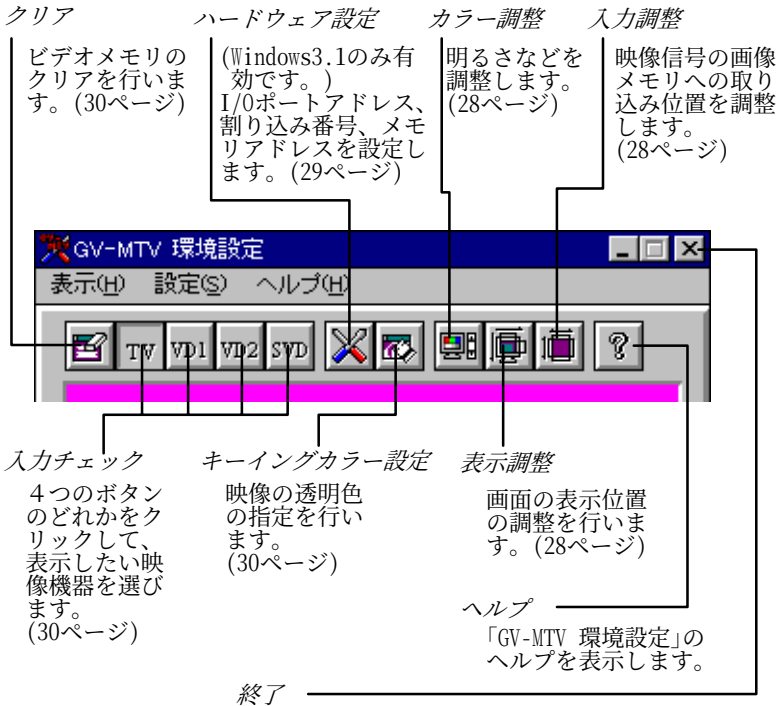
注意



参考

- 1) 「GV-MTV 環境設定」を起動したまま、DOSプロンプト (WindowsからのDOSアプリケーションの起動を含む) を起動しないでください。
- 2) 映像機器が接続されていない入力チェックをクリックすると映像は消えますが、接続済みの入力チェックを再度クリックすると表れます。
- 3) 最初にGV-MTVのアプリケーションを起動したとき、映像ウィンドウに表示される映像の表示範囲や位置は標準値です。映像ウィンドウの中に紫色や黒い部分があって見づらい場合は、「表示調整」または「入力調整」を使用して調整してください。(28ページ参照)

・「GV-MTV 環境設定」の機能



「GV-MTV 環境設定」を終了します。
現在の設定をGV-MTV/ISA環境ファイル (gymtv.ini) に保存するかどうかのダイアログが表示されます。
[はい] をクリックすれば、現在の設定が保存されます。

・ 映像の調整

映像の調整は「[カラー調整]」、「[表示調整]」、「[入力調整]」コマンドで行います。



(カラー調整)カラーの調整を行います。



0～255の範囲で指定します。

0～31の範囲で指定します。

0～31の範囲で指定します。



(表示調整)表示の調整を行います。



0～1023の範囲で
指定します。

0～1023の範囲で
指定します。

1～1023の範囲で
指定します。

GV-MTV 環境設定の表示画面で位置を確認しながら調整します。赤い枠と白い枠が合っている位置が最適な表示位置となります。



(入力調整)画像メモリへの入力調整を行います。



0～1023の範囲で指定します。

0～1023の範囲で指定します。

0～1023の範囲で指定します。

0～1023の範囲で指定します。

インタレース
ビデオなどの映像機器
ノン・インタレース
ビデオなどの映像機器やビデオゲーム機など

映像ウィンドウの中の透明色の部分をなくすには

〔表示調整〕ダイアログでの

- ・〔表示位置〕の十字キーで上下左右に透明色の部分が移動します。



参考

透明色の部分とは、キーイングカラーで設定した色（紫色など）をいいます。

映像ウィンドウの中の黒い部分をなくすには

〔入力調整〕ダイアログでの

- ・〔取込開始 X〕と〔取込終了 X〕で、左右に黒い部分が移動します。
- ・〔取込開始 Y〕と〔取込終了 Y〕で、上下に黒い部分が移動します。

黒い部分が消えてもなおつまみを移動させると、上下左右端にブレやひずみが発生しますが、つまみの位置を元に戻すと直ります。

ビデオ映像全体が映らないときは

〔入力調整〕ダイアログで

〔取込開始 X〕、〔取込開始 Y〕、〔取込終了 X〕、〔取込終了 Y〕を操作して、全体が映るように調整します。

ビデオやテレビなどの場合は、だいたい639×239くらいの範囲を取り込むと、ほぼ全体が表示できます。（映像機器によっては入力調整の必要な場合もあります。）

・ ハードウェアの設定（Windows3.1のみ有効）



（ハードウェア設定）....ハードウェアの設定を行います。

この設定は、Windows3.1でしか使用できません。（44ページ参照）

Windows95上でGV-MTV/ISAのハードウェアの設定を変更するには、

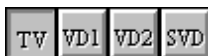
「● GV-MTV/ISAの設定の確認・変更」54ページを参照して行ってください。

• その他のコマンド



(クリア)ビデオメモリのクリアを行います。

映像を消します。映像が動いているときに行うとクリアしたあと再表示しますが、映像が停止したときに行うとクリアしたままになります。



(入力チェック) 表示したい映像機器を選択します。

アイコンが押されている状態は、現在選択されていることを表しています。また、接続していない映像機器に切り替えたときは、映像ウィンドウには何も表示されません。



(キーイングカラー設定) ...キーイングカラーを設定します。

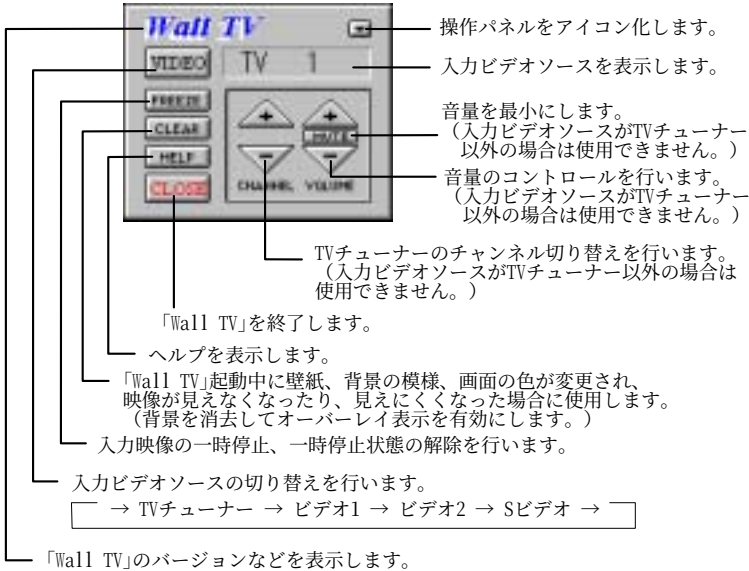


設定されているキーイングカラーを使用している他のアプリケーションと併用し、映像の写り込みが気になる場合などに設定変更してください。

4.3 「Wall TV」を使用するには

「Wall TV」を使用するとWindowsの壁紙の部分にオーバーレイ表示を行うことができます。

各ボタンの機能概要



注意

- 1) 「Wall TV」の動作中は、GV-MTV/ISAを使用する他のアプリケーションは使用できません。
- 2) 「Wall TV」動作中に、ディスプレイ解像度・走査方式などの変更を行うと映像が表示されなくなります。解像度などの変更を行う場合は、「Wall TV」を一旦終了してから実行してください。
- 3) 「Wall TV」は必ず [CLOSE] ボタンで終了してください。他の方法で終了させた場合、画面の色が変更される場合があります。

キーボードでの操作

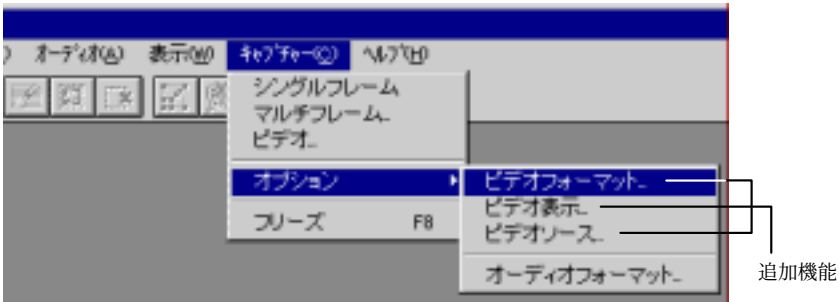
ボタン	キーボード
	「Tab」
	「SPACE」
	「Ctrl」 + 「C」
	「F1」
	「Alt」 + 「F4」
 (CHANNEL)	「Ctrl」 + 「+」 (or 「→」 or 「↑」)
 (CHANNEL)	「Ctrl」 + 「-」 (or 「←」 or 「↓」)
 (VOLUME)	「+」 (or 「→」 or 「↑」)
 (VOLUME)	「-」 (or 「←」 or 「↓」)
	「Ctrl」 + 「M」
	「Ctrl」 + 「N」
	「Ctrl」 + 「A」

44 キャプチャツールを使用する前に

GV-MTV/ISAをインストールすると添付のビデオ編集ソフト「VideoWork」や別売のVideo for Windowsフルセットに含まれる「ビデオキャプチャ」に、GV-MTV/ISA用オプション機能が追加されます。

また、「コントロールパネル」の「マルチメディア」アイコンでキャプチャ用の設定を行うことができます。

・「VideoWork」の場合



●「ビデオフォーマット」コマンド（キャプチャした画像の保存形式の設定）



キャプチャした画像の保存形式を選択します。

- ・ Aura 1 Compressed：圧縮率が大きく、ファイルサイズが節約できます。
- ・ Aura 2 Compressed：圧縮率がやや小さくなる分、きれいな画像が保存できますが、脱落フレームが多くなります。

●[ビデオ表示]コマンド（画像の表示状態の調整）

— 画像の表示状態を調整します。

ビデオ表示

鮮やかさ(S): 16

明るさ(B): 128

コントラスト(C): 16

OK

キャンセル

既定値

調整...

この画面の設定値を既定値に戻します。

表示調整

表示位置 X: 135

表示位置 Y: 28

水平サイズ: 262

OK

キャンセル

既定値

この画面の設定値を既定値に戻します。

ビデオウィンドウ内での画像表示位置を設定します。
表示する画像自体の範囲を変更したいときは[ビデオソース]コマンドの「取り込み調整」を行ってください。
(35ページ参照)

●[ビデオソース]コマンド（ソース(入力元)の設定)



キャプチャしたい入力元を指定します。

- ・V1 : ビデオ1からの画像
- ・V2 : ビデオ2からの画像
- ・S : Sビデオからの画像
- ・チューナ : TV画像

この画面での設定値を既定値に戻します。

画像の取り込み範囲を指定します。この取込範囲をビデオサイズに合わせるので、取り込み範囲を大きくした場合は画像が縮小されて表示されます。



この画面での設定値を既定値に戻します。

ノン・インタレースの方が画像がちらつかずきれいですが、ビデオサイズをフルサイズに設定することはできません。



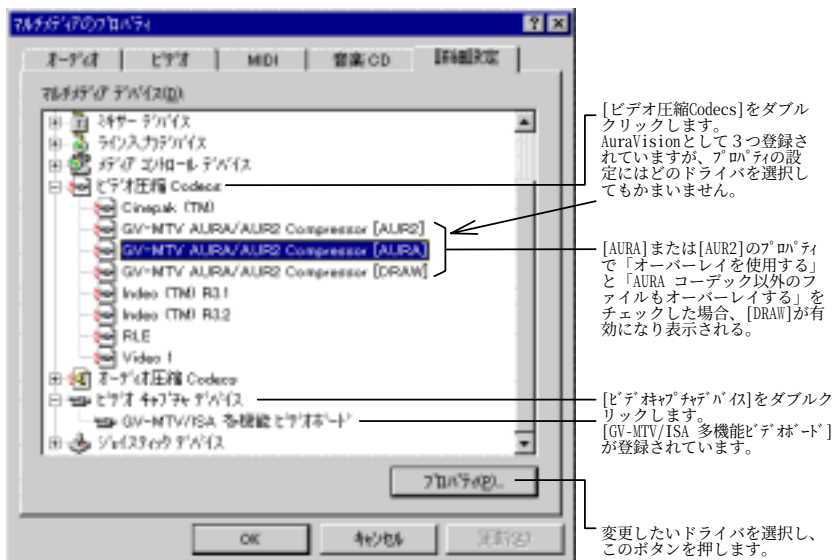
モノラル時は[モノラル中]と表示

[主音声]、[副音声]、[主+副]の切替

消音の時は[消音中]と表示

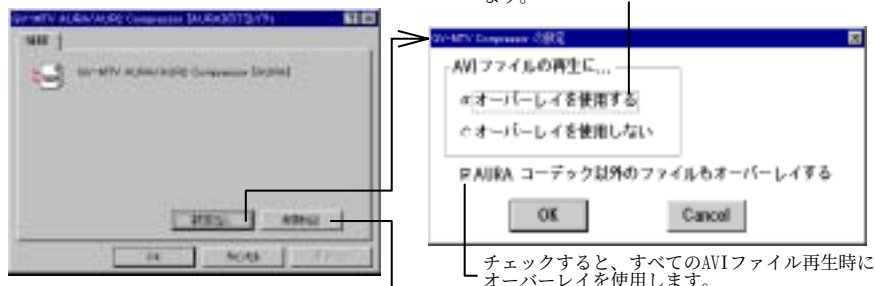
・プロパティの設定

[コントロールパネル]の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。「マルチメディアのプロパティ」の[詳細設定]を選びます。



●[ビデオ圧縮Codecs]の[GV-MTV AURA/AUR2 ...]のいずれかを選択したとき

オーバーレイを使用するとメディアプレーヤーなどのAVIファイル再生がきれいになります。
使用しないと、表示がやや速くなります。



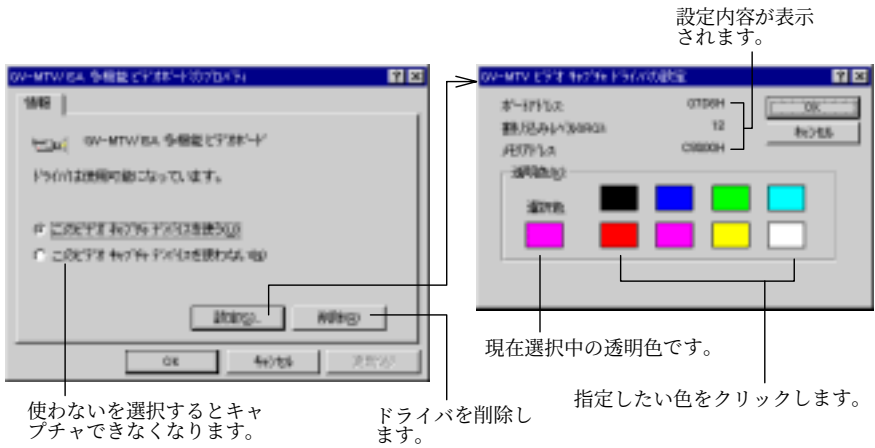
ドライバの登録を削除します。
(ディスクスペースからは削除されません。)



注意

Direct Videoが組み込まれている場合、「オーバーレイを使用する」をチェックするとDirect Videoが動作いたしません。

●[ビデオキャプチャデバイス]の[GV-MTV/ISA 多機能ビデオボード]を選択したとき



第5章

日本語Windows3.1 へのセットアップ

この章では日本語Windows3.1でのGV-MTV/ISAのセットアップ方法を説明します。

51

取り付け

・ 取り付ける前に

パソコンにGV-MTV/ISAを取り付ける前に、予めパソコン本体や他の拡張ボードが使用しているリソース（I/Oポートアドレス、割り込み、メモリなど）を各マニュアル等で調べ、GV-MTV/ISAが使用するリソースと重複しないように設定する必要があります。（「付3.1 パソコン環境」57ページ参照）

GV-MTV/ISAが必要とするリソース

① I/Oポート（連続した4バイトを使用）

I/Oポートのスタートアドレスは、以下から選択可能です。

05D0h, 05D4h, 05D8h, 05DCh

06D0h, 06D4h, 06D8h, 06DCh

07D0h, 07D4h, 07D8h, 07DCh

例）スタートアドレスを05D0hとした場合、05D0hから4バイト（05D0h～05D3h）使用します。

② メモリ（ビデオメモリとして使用）

メモリアドレスは、以下から選択可能です。

0C8000h, 0D0000h, 0F0000h または 無し

③ 割り込み（使用）

割り込み（IRQ）は、以下の番号の中から選択可能です。

5, 10, 11, 12, 15



特に注意

ハードディスクの内容が破壊される恐れがありますので、ビデオメモリアドレスで「F00000h」を使用する場合は、パソコン（マザーボード）のBIOSセットアップメニューでアドレス「F00000h」を使用可能に設定してください。

（例・・・Memory Hole At 15M-16M : Enabled）

GV-MTV/ISAのリソースを設定するには

各リソースの設定は、「GV-MTV 環境設定」の「ハードウェア設定」（44ページ参照）で設定してください。

ただし、I/Oポートアドレスの設定は、GV-MTV/ISAボード上のI/Oポートの設定（ディップスイッチの設定）も行う必要があります。（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）

• 取り付け

ボードの取り付けに関しては、「2.2.2 取り付け方法」12ページを参照して行ってください。

52

インストール

ここでは、Windows3.1へのGV-MTVサポートソフトウェア（[GV-MTV TV コントローラ],[GV-MTV 環境設定],[Wall TV],[説明ファイル]）のインストール方法について説明します。

1 Windows3.1を起動します。（このセットアップでハードウェアの設定を行います。）

2 「プログラムマネージャ」の「アイコン」メニューから「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。）

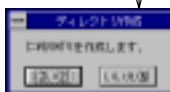
3 「GV-MTVサポートソフトウェア①」ディスクをフロッピーディスク装置にセットします。

4 「コマンドライン」テキストボックスに以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

書式 サポートソフトディスクを入れたドライブ名:\GVSETUP

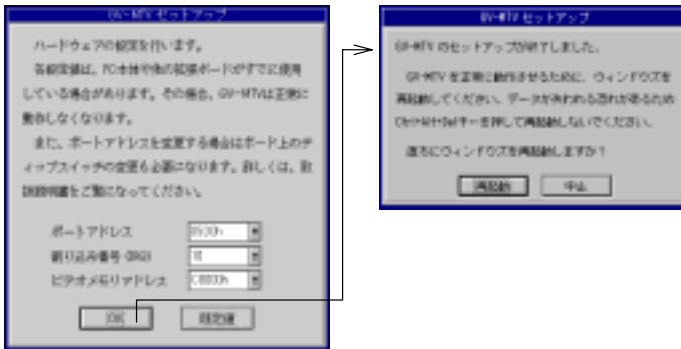


5 「GV-MTVセットアップ」ダイアログボックスが表示されるので、「GV-MTV インストール」を選択後、[OK]ボタンをクリックします。インストール先（ファイルのコピー先）の確認画面が表示されるので、テキストボックスの内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。



インストール先のドライブに、表示のディレクトリが存在していない場合、ディレクトリ作成の確認画面が表示されます。

- 6 ファイルのコピーを開始します。（途中でGV-MTV/ISA対応の Display Effectを組み込みます。[古いバージョンの場合のみ]）
- 7 アイコンとグループ作成のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 8 インストール終了画面の表示後、ハードウェアの設定を行い[OK]ボタンを押します。後は画面の指示にしたがって操作してください。最後に「再起動」ボタンを押し、再起動後にGV-MTV/ISAが有効になります。



- 9 再起動後、[GV-MTV]グループに[GV-MTV TV コントローラ], [GV-MTV 環境設定], [Wall TV], [説明ファイル]というアイコンが登録されています。



以上でインストールは終了です。

53 インストールされた 情報を削除するには

ここでは、Windows3.1にインストールしたGV-MTVサポートソフトウェアの情報を削除（アン・インストール）する方法について説明します。

アン・インストールは、GV-MTVサポートソフトウェアでのアン・インストールの実行で行います。

アン・インストール後、GV-MTV/ISAをパソコンから取り外してください。



注意

GV-MTV/ISAのサポートソフトウェアがインストールされていない状態では、アン・インストールはできません。また、別売オプションのGV-TTX/EXサポートソフトウェアがインストールされている場合は、GV-TTX/EXサポートソフトウェアのアン・インストール後に、GV-MTV/ISAのアン・インストールを行ってください。

1 Windows3.1の「プログラマネージャ」の「アイコン」メニューから「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。）

2 サポートソフトディスクをフロッピーディスク装置にセットします。

3 「コマンドライン」テキストボックスに以下のように入力し、[OK]ボタンをクリックします。

書式 サポートソフトディスクを入れたドライブ名:\GVSETUP



4 「インストール」, 「アン・インストール」の選択画面が表示されます。「アン・インストール」を選択後、[OK]ボタンを押します。

5 アイコンとグループ削除のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。アン・インストール終了のウィンドウが表示されます。「再起動」ボタンを押してください。Windows3.1が再起動されます。

以上でアン・インストールは終了です。

付録 1

日本語Windows3.1で 映像を楽しもう

ここではWindows3.1上でのGV-MTV/ISAの添付アプリケーションの使用方法を説明します。（Windows3.1上での使用法は、Windows95上での使用法とほぼ同じです。（「第4章 映像を楽しもう」21ページも参照して使用してください。）



4.1 テレビを見るには ●

GV-MTV/ISAにUHF,VHF混合の75Ω同軸ケーブルを接続する事によりWindows3.1上でテレビを見ることができます。

テレビを見るには、[GV-MTV]グループの[GV-MTV TV コントローラ]アイコンの起動が必要です。[GV-MTV TV コントローラ]アイコンをダブルクリックして起動します。



注意

[GV-MTV TV コントローラ]の使用法は、Windows95上での使用法とほぼ同じです。「4.1 テレビを見るには」22ページを参照してください。

付12 「GV-MTV 環境設定」の使い方

ここではWindows3.1上での「GV-MTV 環境設定」の操作を説明します。

「GV-MTV 環境設定」は、[GV-MTV]グループの[GV-MTV 環境設定]アイコンをダブルクリックして起動します。



注意

[GV-MTV 環境設定]の使用方法は、Windows95上での使用方法とほぼ同じです。「4.2 「GV-MTV 環境設定」の使い方」26ページを参照してください。

ただし、「ハードウェア設定」(Windows3.1のみ有効)の使用方法に関しては以下を参照してください。「ハードウェア設定」でのI/Oポートアドレスの設定とGV-MTV/ISAボードのI/Oポートアドレスの設定(ディップスイッチの設定)を合わせる必要があります。(「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照)



(ハードウェア設定)ハードウェアの設定を行います。



I/Oポートアドレスを
05D0h, 05D4h, 05D8h, 05DCh,
06D0h, 06D4h, 06D8h, 06DCh,
07D0h, 07D4h, 07D8h, 07DCh
の中から選択します。

ビデオメモリアドレスを
C8000h, D0000h, F00000h,
無し
の中から選択します。

割り込み番号 (IRQ) を
5, 10, 11, 12, 15
の中から選択します。



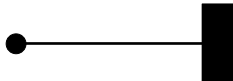
特に注意

ハードディスクの内容が破壊される恐れがありますので、ビデオメモリアドレスで「F00000h」を使用する場合は、パソコン (マザーボード) のBIOSセットアップメニューでアドレス「F00000h」を使用可能に設定してください。

(例...Memory Hole At 15M-16M : Enabled)



「Wall TV」を使用するには



「Wall TV」を使用するとWindows3.1の壁紙の部分にオーバーレイ表示を行うことができます。

「Wall TV」は、[GV-MTV]グループの[Wall TV]アイコンをダブルクリックして起動します。



注意

「Wall TV」の使用方法は、Windows95上での使用方法とはほぼ同じです。
「4.3 「Wall TV」を使用するには」31ページを参照してください。

14 キャプチャツールを使用する前に ●

GV-MTV/ISAをインストールすると添付のビデオ編集ソフト「VideoWork」や別売のVideo for Windowsフルセットに含まれる「ビデオキャプチャ」に、GV-MTV/ISA用オプション機能が追加されます。

また、「コントロールパネル」の「ドライバの設定」でキャプチャ用の設定を行うことができます。

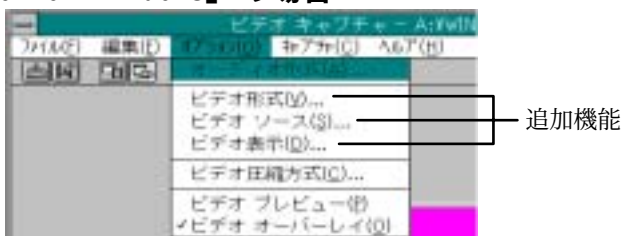
●「VideoWork」の場合



注意

[VideoWork]の使用方法は、Windows95上での使用方法とほぼ同じです。
「4.4 キャプチャツールを使用する前に」33ページを参照してください。

●「Video for Windows」の場合



●[ビデオ形式]コマンド

「VideoWork」の[ビデオフォーマット]コマンドと同じです。

●[ビデオ ソース]コマンド

「VideoWork」の[ビデオソース]コマンドと同じです。

●[ビデオ表示]コマンド

「VideoWork」の[ビデオ表示]コマンドと同じです。

・コントロールパネルの設定

[ドライバ]アイコンをクリックします。



追加されたドライバ (2つ)

設定変更したいドライバを選び、このボタンを押します。

●[GV-MTV Video Capture Driver]を選択したとき

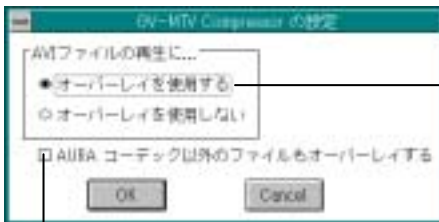


設定内容が表示されます。

指定したい色をクリックします。

現在選択中の透明色です。

●[GV-MTV YUV Compressor]を選択したとき



オーバーレイを使用するとメディアプレーヤーなどのAVIファイル再生がきれいになります。使用しないと、表示がやや速くなります。

チェックすると、すべてのAVIファイル再生時にオーバーレイを使用します。



注意

Direct Videoが組み込まれている場合、「オーバーレイを使用する」をチェックするとDirect Videoが動作いたしません。

付録2

困った時には

● 一般的なトラブル

● Windows95上

映像ウィンドウが表示されない（「GV-MTV コントローラ」，「GV-MTV 環境設定」起動時に、「ボードが見つかりません。」などのエラーとなる）

原因1：GV-MTV/ISAが正しく取り付けられていない。

対処：パソコンの電源を切ります。

GV-MTV/ISAが確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（「第2章 GV-MTV/ISAを取り付けよう」8ページ参照）

原因2：Windows95上でのGV-MTV/ISAのI/Oポートアドレスの設定が、他のデバイスと競合している、または、GV-MTV/ISAボード上のI/Oポートアドレスの設定（ディップスイッチによる設定）と異なっている。

対処：「● GV-MTV/ISAの設定の確認・変更」54ページを参照して、Windows95上でのGV-MTV/ISAが使用しているI/Oポートアドレスの設定が

- ① 他のデバイスと競合していないかを確認してください。競合していた場合は、I/Oポートアドレスを変更してください。
- ② GV-MTV/ISAボードのI/Oポートアドレスの設定（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）と合っているか確認してください。合っていない場合は、ディップスイッチの設定を合わせてください。

「Video Work」を使用してキャプチャしようとした時に、「ビデオフレームが撮られていません。」のエラーとなる

原因：GV-MTV/ISAが使用している割り込み（IRQ）と他のボードの割り込みが競合している可能性があります。

対処：現在使用している割り込みが他のデバイスと競合していないか確認してください。競合していない場合でも、割り込み番号を他の競合しない割り込み番号に変更してみてください。（「● GV-MTV/ISAの設定の確認・変更」54ページ参照）

• Windows3.1上

映像ウィンドウが表示されない（「GV-MTV コントロール」，「GV-MTV 環境設定」起動時に、「ボードが見つかりません。」などのエラーとなる）

原因1：GV-MTV/ISAが正しく取り付けられていない。

対処：パソコンの電源を切ります。

GV-MTV/ISAが確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（「5.1 取り付け」38ページ参照）

原因2：Windows3.1でのGV-MTV/ISAのI/Oポートアドレスの設定が、GV-MTV/ISAボード上のI/Oポートアドレスの設定（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）と異なっている。

対処：「GV-MTV 環境設定」の「ハードウェア設定」（44ページ参照）で設定したI/OポートアドレスとGV-MTV/ISAボードのI/Oポートアドレスの設定（ディップスイッチの設定）が合っているか確認し、合わせてください。
（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）

原因3：GV-MTV/ISAのI/Oポートアドレスの設定が、他のデバイスと競合している。

対処：パソコンの電源を切ります。GV-MTV/ISAを取り外し、I/Oポートアドレスの設定を変更してみてください。（「• Windows3.1上」56ページ参照）

「Video Work」を使用してキャプチャしようとした時に、「ビデオフレームが撮られていません。」のエラーとなる

原因：GV-MTV/ISAが使用している割り込み(IRQ)と他のボードの割り込みが競合している可能性があります。

対処：現在使用している割り込みが他のデバイスと競合していないか確認してください。競合していない場合でも、割り込み番号を他の競合しない割り込み番号に変更してみてください。（「GV-MTV 環境設定」での「ハードウェア設定」44ページ参照）

・ その他Windows上でのトラブル

映像ウィンドウは表示されるが、映像が表示されない
(画面全体が黒色表示の状態)

原因1 : GV-MTV/ISAが正しく取り付けられていない。

対処 : Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

GV-MTV/ISAが確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(「第2章 GV-MTV/ISAを取り付けよう」8ページ参照)

映像機器には映像出力端子のほかに映像入力端子もあります。同じピンプラグコネクタですので間違えていないか、確認してください。

また、ご用意いただいたケーブルが映像用ケーブル(ビデオコード)かどうか確認してください。

原因2 : 映像機器の電源が入っていない。

対処 : 映像機器の電源を確認します。ビデオなどの再生機器は、再生状態になっているかも確認してください。

原因3 : 入力チャンネルの設定が違う。

対処 : 接続されている映像機器の入力端子(A, B, C)に合わせて入力チャンネルを切り替える必要があります。

「GV-MTV 環境設定」使用時に、映像ウィンドウ全体がキーイングカラーの透明色(紫色)で表示される

原因 : GV-MTV/ISAが正しく取り付けられていない。

対処 : 「GV-MTV 環境設定」およびWindowsを終了し、パソコンの電源を切ります。ボードの取り付けを確認してください。

・ ボードの取り付け確認事例

GAシリーズを使用している場合は、GAシリーズ→GV-MTV/ISA→ディスプレイの順にCRTケーブルが接続されている事。

また、「GV-MTV環境設定」の設定値が異常な場合があります。「GV-MTV環境設定」で各項目を「既定値」に戻してから環境設定してください。

(「4.2「GV-MTV 環境設定」の使い方」26ページ参照)

保存した画像ファイルを他のアプリケーションで表示させたら、モノクロに近い画像になっている、または、色が荒い

原因 : そのアプリケーションがフルカラー対応でない。

対処 : 保存した画像ファイルがフルカラー形式のとき、フルカラー対応でないアプリケーションではきれいに表示されません。ハイカラー（32,768色：Windows3.1の場合は65,536色）ではかなりきれいに表示できますが、16色対応の場合はモノクロに近い画像になり、256色対応の場合は色が荒く感じられます。（その場合でも「GV-MTV TV コントローラ」の読み込み機能で表示させるとフルカラーで表示されます。）

テレビの音声が出ない

原因1 : LINE OUTが正しく接続されていない。

対処 : 「2.2.2 取り付け方法」12ページを参照して、スピーカーやLINE IN端子との接続を確認してください。

原因2 : 音量が小さくなっている。

対処 : 「GV-MTV TV コントローラ」をご使用の場合は「4.1 テレビを見るには」を参照して、音量を確認（23ページ）してください。

その他、動作が安定しない

原因 : 何らかの原因で環境ファイルが壊れている。

対処 : WINDOWSのディレクトリに入っているGV-MTV/ISA環境ファイル（gvmtv.ini）を削除して、始めから環境設定をやり直してください。

● エラーメッセージ

GV-MTVの初期化に失敗しました。

ボードが壊れている可能性があります。弊社サポートセンターまでご連絡ください。

GV-MTVを使用したアプリケーションがすでに起動されています。（2重起動できません。）

ご使用中のGV-MTV用アプリケーションを終了してください。

表示解像度が1024x768ドットを超えています。

表示解像度を1024x768ドット（ノンインタレースフリッカーフリー75Hz）以下にしてください。

ボードが見つかりません。

GV-MTVのボードを正しく装着してください。

ボードが正しく装着されている場合は、I/Oポートアドレスの設定に問題があると思われるます。

ディップスイッチの設定と環境設定値が同じになっているか確認してください。

また、他の周辺機器ボードのI/Oポートアドレスと重なっている場合は、アドレスを変更してください。

RGB接続ケーブルが正しく接続されていません。

RGB接続ケーブルを正しく接続し直してください。

表示解像度の走査方式がインタレース表示になっています。

走査方式をノンインタレース表示にしてください。

現在表示されている表示解像度の設定が環境ファイルにありません。

GV-MTV環境設定で表示の調整（表示調整の水平サイズ）を行って設定値を環境ファイルに保存してください。

弊社製グラフィックアクセラレータボードがMPCモードになっています。

グラフィックアクセラレータボードを通常モードに戻してから再度、起動してください。

弊社製グラフィックアクセラレータボードでハードウェアズームを行っています。

通常モードに戻してから再度、起動してください。

● GV-MTV/ISAの設定の確認・変更

・ Windows95上

ここでは、Windows95でのGV-MTV/ISAの設定（I/Oポートアドレスや割り込み番号（IRQ））の確認や変更方法について説明します。

通常、I/Oポートアドレスや割り込み番号の変更を行う必要はありません。他の拡張ボードとI/Oポートアドレスや割り込み番号が重複する場合にのみ変更を行ってください。

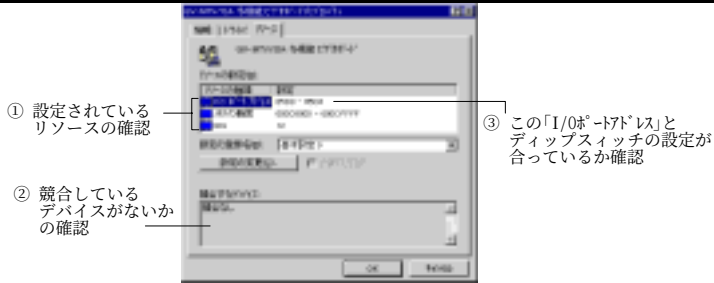
1 Windows95を終了し、パソコンの電源スイッチを切ります。
ISAバスの拡張スロット（フルサイズ）に取り付けてあるGV-MTVを取り外します。

2 ディスプレイのケーブルを取り外した場合は、ケーブルをパソコンに接続し直します。パソコンの電源をONにし、Windows95を再度起動します。
[コントロールパネル] → [システム] → [デバイスマネージャ] → [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントロール] をダブルクリックします。[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントロール] の「GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード」を選択後、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 「GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード」の「プロパティ」画面が表示されます。
「GV-MTV/ISA 多機能 ビデオボード」の「プロパティ」画面の「リソース」を選択します。
以下を確認してください。

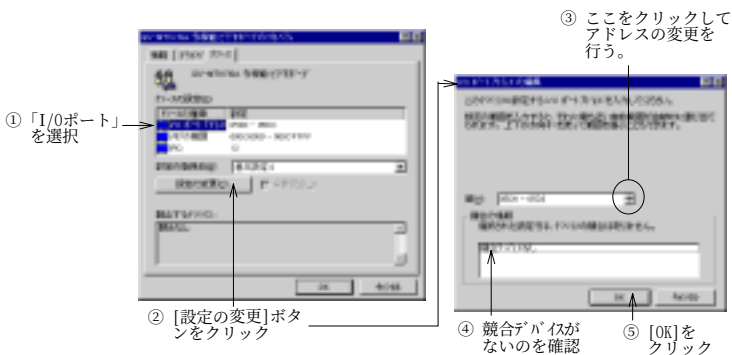
- ① 設定されているリソース
- ② 競合デバイスがないか
- ③ 設定されている「I/Oポートアドレス」とGV-MTV/ISAのディップスイッチの設定が合っているか（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）



4 設定の確認のみの場合、[キャンセル]ボタンをクリックして「GV-MTV/ISA 多機能ビデオボードのプロパティ」画面を終了し、Windows95を終了後、パソコンの電源を切り、再度GV-MTV/ISAを取り付けてください。（「2.2.2 取り付け方法」12ページ参照）

設定を変更する場合、

- ① 「リソースの種類」の変更する設定（「I/Oポートアドレス」等）をクリックします。
- ② [設定の変更]ボタンをクリックします。編集画面が表示されます。
- ③ 設定値の変更を行います。
- ④ 変更した「値」が、「競合デバイスがない」のを確認してください。競合デバイスがある場合には、他の設定値に変更し直してください。
- ⑤ 変更終了後、編集ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。



5 I/Oポートアドレスを変更した場合は、変更値にGV-MTV/ISAのディップスイッチを設定し直して（合わせて）ください。（ディップスイッチの設定は、「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページを参照して行ってください。）
変更内容を保存するために、「GV-MTV/ISA 多機能ビデオボードのプロパティ」画面の[OK]ボタンをクリックします。（変更しない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。）

6 「システム設定の変更」画面で[はい]ボタンを押し、コンピュータをシャットダウン後電源を切ってください。

この後、**操作4**で設定したGV-MTV/ISAをコンピュータに取り付けます。

（「2.2.2 取り付け方法」12ページ参照）

以上で設定変更は終了です。

• Windows3.1上

日本語Windows3.1でGV-MTV/ISAのリソース（I/Oポートアドレス、割り込み、メモリなど）の変更を行う前に、予めパソコン本体や他の拡張ボードが使用しているリソースを各マニュアル等で調べ、GV-MTV/ISAが使用する資源と重複しないように設定する必要があります。（「5.1 取り付け」38ページ参照）

GV-MTV/ISAのリソースの設定を変更するには

各設定は、「GV-MTV 環境設定」の「ハードウェア設定」（44ページ参照）で変更します。

ただし、I/Oポートアドレスの変更を行った場合は、GV-MTV/ISAボード上のI/Oポートの変更（「付3.2 ディップスイッチの設定」59ページ参照）も行う必要があります。

Windows3.1を終了し、パソコンの電源スイッチを切り、ボードを取り外して、ディップスイッチの設定を行ってください。

付録3 仕様

ここではパソコンの環境状況、およびGV-MTV/ISAの仕様について記述します。

付31 パソコン環境 ●

「割り込み(IRQ)」、「I/Oポートアドレス」、「DMAチャネル」がパソコン本体や他の拡張ボードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。

この場合は、拡張ボードを全て取り外してから各拡張ボードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。

また、各拡張ボードを使用する環境によっては、CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT、Windows上の環境設定ユーティリティで変更しなければならない場合があります。

(各拡張ボードのマニュアル参照)

- ・パソコン本体の割り込みとDMAおよびI/Oポートアドレス使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2)		5		278h～27Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用 (IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブ コントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブ コントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h



注意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。マニュアルなどを参照して確認してください。

・各種ボードの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/Oポートアドレス
GV-MTV/ISA(本製品)		10		5D0h～5D3h
LA-ISAシリーズ		3		300h～31Fh
GAシリーズ(VGAモード使用時)				3C0h～3DFh, 46E8h
SC-DV/ISA		11		140h～14Fh
Sound Blaster16	Game Port	5	1,5	200h～207h
	SB16			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～38Bh
Sound Blaster Pro	Game Port	5	1	200h～207h
	SB Pro			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～389h(～39Fh)
AHA-1520/1522		11		340h～35Fh
AHA-1540/1542		11	5	330h～333h

☐ は出荷時設定



注意

使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られています。このため、拡張ボードを多く使用しようとすると、重複がさけられない場合があります。

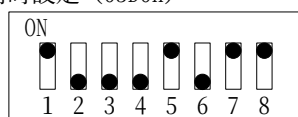
この場合は、重複のさけられない拡張ボードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各拡張ボードのマニュアルを参照して確認してください。

付32 ディップスイッチの設定

出荷時のGV-MTV/ISAのI/Oポートアドレスは05D0h（05D0hからの4バイト：05D0h～05D3hを使用）の設定です。

他のボードと重なるときは0xD0h, 0xD4h, 0xD8h, 0xDCx(xは5～7を設定可)のいずれかに変更することができます。ボード上のディップスイッチで変更してください。

出荷時設定（05D0h）



下位I/Oポートアドレスの設定
(出荷時 D0 に設定)

上位I/Oポートアドレスの設定
(出荷時 05 に設定)

ディップスイッチの設定

上位I/Oポートアドレスの設定

05xxh	06xxh	07xxh

下位I/Oポートアドレスの設定

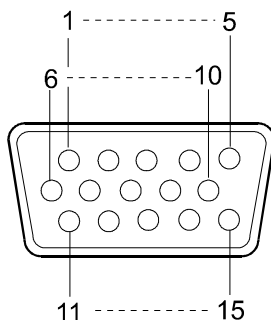
xxD0h	xxD4h	xxD8h	xxDCh



ハードウェア仕様 ●

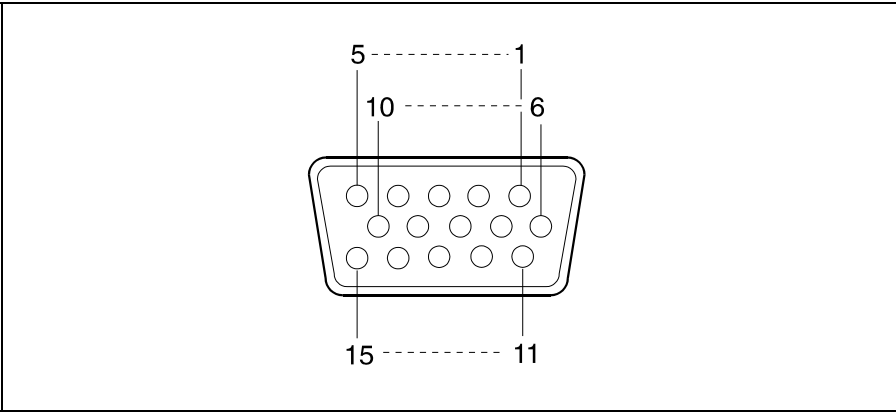
信号処理方式		YUV4:2:2
画像メモリ		512KB
割り込み (IRQ)		5, 10, 11, 12, 15から選択
I/Oポート		0xD0h, 0xD4h, 0xD8h, 0xDChのいずれかで連続した4バイト分(xは5～7を設定可)
R	同期信号	TTLレベル(正極性, 負極性 両方に対応 [自動認識])
G	同期信号	Hsync 24.8KHz～57.0KHz Vsync 56.4Hz～90.0Hz
B	周波数	
入		
力	映像信号	アナログRGB 0.7Vp-p 入力インピーダンス 75Ω
仕		
様		
NTSC入力仕様		NTSCコンポジット 1Vp-p 75Ω Sビデオ 1Vp-p 75Ω
音声出力仕様		ステレオ、音声多重出力 1.0Vrms
コネクタ		音声出力…………… (ステレオミニジャック 3.5Φ) アンテナ入力……… (F接栓) analog RGB 入力… (シュリット® D-sub15ピン・オス [CRT OUTからの接続用]) analog RGB 出力… (シュリット® D-sub15ピン・メス [CRT への接続用]) ビデオ入力…………… (RCAピン×2、Sビデオ×1、 拡張×1 への変換)
動	電源	+5V±5% +12V±10% -12V±10%
作	温度	0℃～+40℃
環	湿度	20%～80% (結露なきこと)
境	消費電流	+5V…1.05A(最大) +12V…590mA -12V…12mA

CRT IN



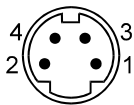
端子番号	信号名	方向	意味
1	AR	入力	アナログ赤色ビデオ信号
2	AG	入力	アナログ緑色ビデオ信号
3	AB	入力	アナログ青色ビデオ信号
4	NC	—	—
5	GND	—	グラウンド
6	GND	—	グラウンド
7	GND	—	グラウンド
8	GND	—	グラウンド
9	NC	—	—
10	GND	—	グラウンド
11	NC	—	—
12	ID1	—	モニターID ビット1
13	HSYNC	入力	水平同期信号
14	VSYNC	入力	垂直同期信号
15	ID3	—	モニターID ビット3

CRT OUT



端子番号	信号名	方向	意味
1	A R	出力	アナログ赤色ビデオ信号
2	A G	出力	アナログ緑色ビデオ信号
3	A B	出力	アナログ青色ビデオ信号
4	N C	—	—
5	G N D	—	グラウンド
6	G N D	—	グラウンド
7	G N D	—	グラウンド
8	G N D	—	グラウンド
9	N C	—	—
10	G N D	—	グラウンド
11	N C	—	—
12	I D 1	—	モニターID ビット1
13	H S Y N C	出力	水平同期信号
14	V S Y N C	出力	垂直同期信号
15	I D 3	—	モニターID ビット3

Sビデオ



端子番号	信号名	方向	意味
1	GND	—	
2	GND	—	
3	Y	入力	輝度信号
4	C	入力	色差信号

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
(フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
住所 株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「GV-MTV/ISA」係 宛

■FAX

FAX番号 本社 076-260-3360
東京 03-3254-9055
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「GV-MTV/ISA」係 宛

■電話

電話番号 本社 076-260-3366
東京 03-3254-0301
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン（パソコン通信）

インターネット http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve アイ・オー・データセッション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトウェアのバージョンアップ」をご覧ください。

サポートソフトウェアのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS-NET

アクセスポイント

東京 03-5295-6570 大阪 06-368-2291
金沢 076-234-9811 VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ハ°リティベ°ットなし,8bit DATA,ストップビ°ット1, X ON,シフト制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS	制限時間	30分		
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> → 「サ°-トソフトライブラリ」
NIFTY-Serve アイ・オー・データステーション(SIODATA)のライブラリ4(LIB 4)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所 〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-MTV/ISA」 バージョンアップ係 宛
電話番号 076-263-7070
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

アフターサービス

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
 - ◇保証書がない場合
 - ◇保証書の所定事項が未記入の場合
 - ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
 - ◇落雷などの事故による破損の場合
 - ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 アイ・オー・データ第2ビル
住所 株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-MTV/ISA」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

GV-MTV/ISA 取扱説明書

1997.Oct.14 E-02B

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1996-1997 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください。

Verシール